

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所  
解放新聞和歌山支局

〒640-8314  
和歌山市神前405-3  
TEL 073-473-2301  
FAX 073-473-2302

発行責任者  
中澤敏浩

# 識字は感性をとり戻す営み

和歌山県教育委員会主催のよみかき交流会が1月29日、30日、白浜町のホテルシーモアでひらかれた。県下13識字学級と各支部の代表者80人が参加し、1年間の学習内容やこれからの識字のありかたについて交流しあった。



一年間の学習成果を識字生で展示した

## 国際識字年

### 9年目を迎えて

1990年、国連総会で「2000年までにすべての人に教育を」を合言葉に世界が非識字者ゼロにする闘いに挑戦した。2000年になり、過去10年間の成果を見直した結果、成人非識字者はわずかに減少した

だけにとどまったため、2003年から2012年までの10年を「国際識字年」と位置づけるとともに行動計画を策定し、世界中でとりくみがおこなわれている。日本においても、差別と貧困により文字を奪われた非識字者が存在している。

(4面につづく)

会場は、鳴神識字学級生の手作り看板とこの1年間識字教室で学習した資料が展示されるなかスタートした。

#### 体験発表 人のために 自分のために 文字を覚える

坂下君代・平井識字学級生から「泣いて笑って識字とともに、平井識字学級30年のキセキ」と題した自身の体験が発表された。平井で2男4女の次女に生まれ、父は植木職人で雨天の時は仕事がなく収入が不安定で生活がきびしかった。



坂下君代さん

た。母は弟を出産してから入退院をくりかえしていたため、小学校5年生から自分が弟の面倒をみるようになり、学校を休むことが多くなった。19歳で結婚し子どもができたが、小学校からの手紙に何が書かれているのか分からない。この時

から字を習いたいと思ったが、どうしたらいいの分からなかった。今から30年前に多くの女性から「もっと字を知りたい」とはじまった平井識字学級。それから単車の免許・調理師の資格をとり仕事につくことができた。一文字でも多くの文字を覚え、自分のため、人のためにがんばり識字の灯を消さないようにしたいと語った。

#### 実践発表 自分の居場所 づくり

つづいて阪口達也・岩橋識字学級指導者から「つながりを大切に」として、新宮に小学校の同和推進教員として単身赴任し、慣れない一人暮らしも地元で解放運動をしていたおかげで新宮の仲間を支えられた。今まで識字学級では識字生だけで、一年間の目標をたて学習していたが、昨年からは中学生の学習会と同じ曜日



阪口達也さん

であることもあり、マンツーマンで勉強していると現状を語った。各分散会では、高齢化する非識字生と長欠・不登校で文字を知らない若年層に光をあてるとりくみとし

て、識字というものがどう対応していくかが話された。2日目は、各分散会の司会者による報告につづいて、浮穴正博・大阪大谷大学非常勤講師より「なまえをかけた」と題した講演があった。識字学級の生徒は高齢者がほとんど。指導者



講師・浮穴正博さん

と識字生が対等につきあうことの難しさなどの体験が話された。つづいて、吉田一子さんのETV特集を観て、今でも100数万人が義務教育を終えていない。少しの字を知りようになると、今まで字を知らなかったことが悔しい。在日外国人が増えるなか、性別や年齢層の幅も広がる。識字は感性をとり戻す営みであるとしめくくった。

1年に1度、励まし合い  
元気のもらえる分散会



## 頑健

新年早々の話だが、新規大卒の就職内定率が過去最低を記録した。その後の動きを把握していないが、その一方で、中小企業では人不足が起きているという▼新規卒業生の希望が、大企業や有名企業に集中していることが原因で、就職浪人まで出ている。さらに、最近、大企業を中心に、新採用の枠を既卒者にも広げるといふ企業が続出しているとか。かといって採用枠を増やしている訳ではない。結果、この状況に拍車をかけることになる。さらに、農業や漁業では慢性的な後継者不足と高齢化が続いている▼「バブル崩壊後」「神話」は消滅したといわれてきたが、それでも「安定」を求めている。「草食系男子」の増加を理由にあげる評論家もあるが、その「ものづくり」の価値や農業や漁業の重要性をどれほど説いても、安定した生活や将来への希望がもてないのが現実だ。若者の安定志向や草食化を嘆き「旅に出るよ」と言うより、産業や経済の構造的な問題を解決することとが近々の課題だ▼なお、部落の産業や雇用は、不安定状況が依然として克服できず、先ごろの和歌山県の調査でも「課題が山積し、さらに深刻な実態」が報告されている (S・I)